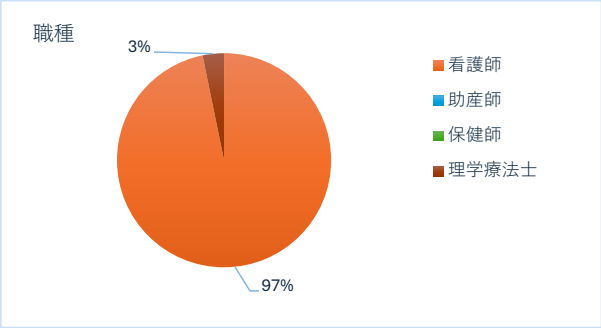
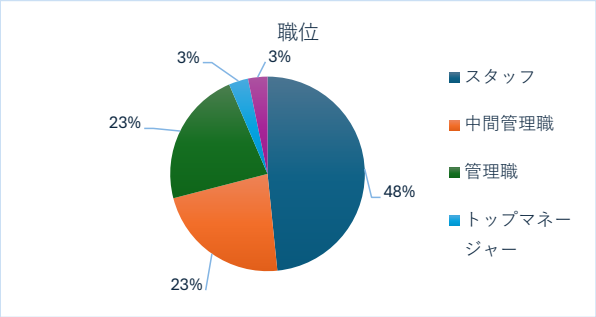
2. 医療安全委員会

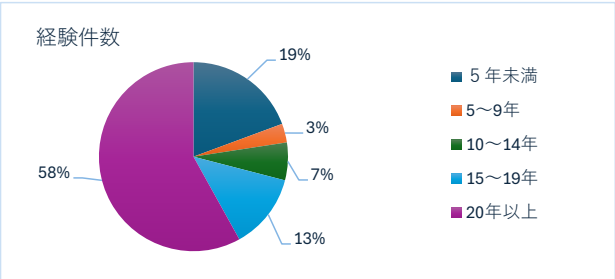
研修名	1)「人は誰でも間違える」ヒューマンエラーを理解しよう	
開催日時	令和6年　6月　16日（日）	9:30～12:30
研修形態	集合研修	
受講者数	49名　（ 会員45名　非会員4名 ）	定員　　各40名
対象	医療・介護現場で働いている職員（医師・看護職・介護職・コメディカル・事務職等）	
ねらい	ヒューマンエラーのメカニズムについて理解できるコミュニケーションスキルが理解できる	
講師	高知医療センター　副院長　林　和俊　先生	

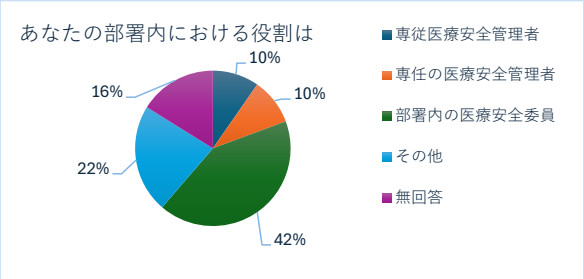
1.アンケート結果

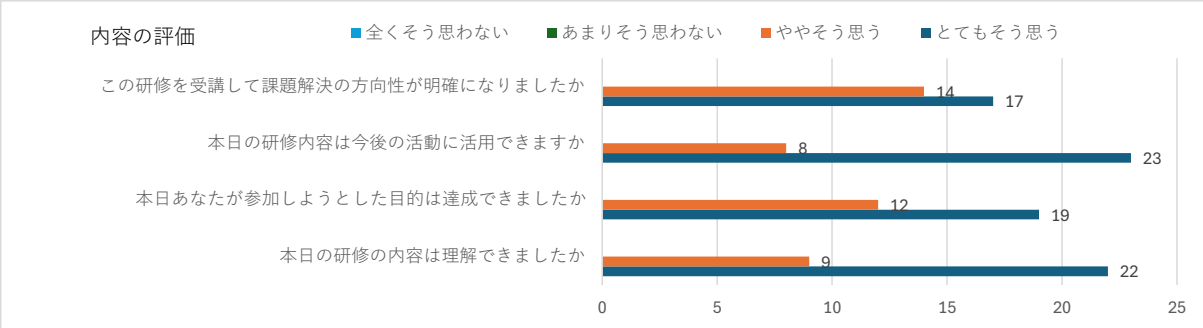
参加人数:49名　回答数:31名　　回収率:63%　　n:31

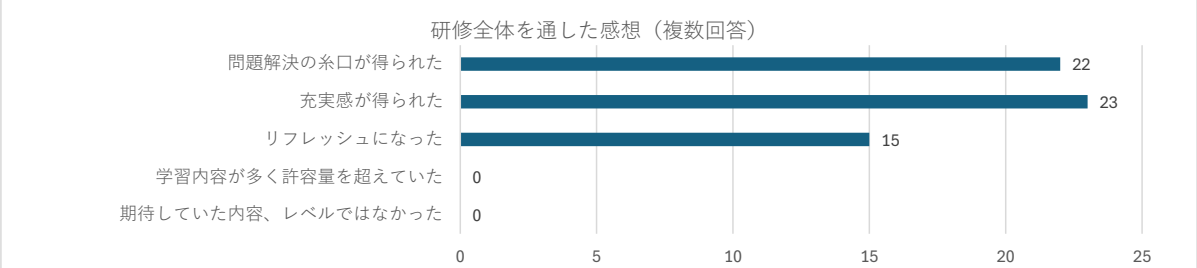












2.意見・感想

- 今日の研修はあっという間に時間が過ぎた。。基本に立ち返って良い1日となった。
- 医療過誤の例では、人ごととは思えず、身震いした。 人の性向、性格や感情を乗り越えて、心理的安全性を確保し、TeamSTEPSを意識して取り組んでいくのは大変だと思った。やはり、組織のリーダー、年長者の倫理観や仕事観、意識の高さも必要だと思った。
- 納得出来る所も多く、医療安全だけでなく業務改善や教育等にも必要な内容であった。今後の病院での取り組みに生かせると思った。
- 分かりやすく、大変勉強になった。エラーやミスも個人の結果を責めるのではなく、組織全体の取り組みや考え方が大変重要であることを本日の研修に参加し改めて感じた。
- 具体的でとても分かりやすい研修だった。 リスクの高さを下げるために、どのような工夫ができるかを常に考えること。コミュニケーションでつながるためには、雰囲気作りから始めることが大事である。特に上長から手本となる行動を増やし実行していきたいと思った。
- 「人は誰でも間違える」のテーマで、講義の中で間違える体験を設定いただき、とても学びになった。
- 内容が理解しやすく、有意義な研修であった。
- 指差し呼称確認について、当院でもインシデントの対策としては上がってはきているものの、実際の現場では出来ていない現状である。今回の研修で、指差し呼称確認は航空業界や鉄道業界など命に関わる職種では必ず行っていると聞き、特に命に関わる現場である医療の現場で出来ていないということに怖さを感じた。 今回学んだことを職場でフィードバックし、自分自身も今後に活かしていきたいと思う。
- ヒューマンエラーは起こる前提で、どこに起こりやすいのかその危険があるのか意識して行動していくことを学ぶ事ができた。

3.研修担当者コメント

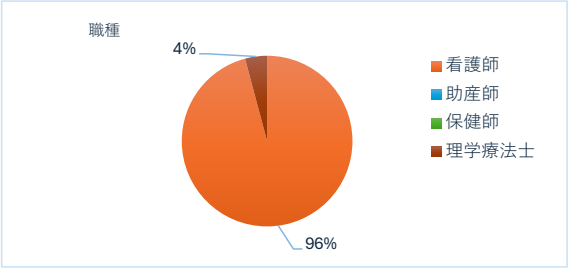
令和4年度に林先生の研修を実施した際、大変好評であり、今年度企画した。研修は、参加型研修で、具体的でわかりやすく、受講生のアンケートにも書かれているように3時間があっという間に過ぎた。ただ、システムの不具合があり、動画視聴がうまくできず、講師・受講生にご迷惑をかけたが、講師の先生が機転を利かせていただき、無事終えることができた。この研修で学んだことを医療現場で活用できることを期待したい。

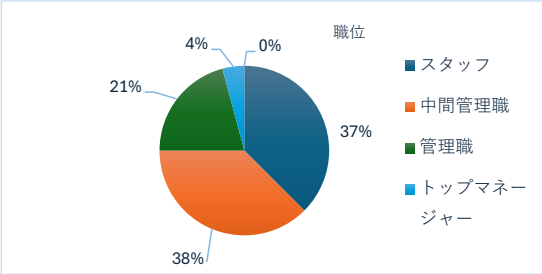
2. 医療安全委員会

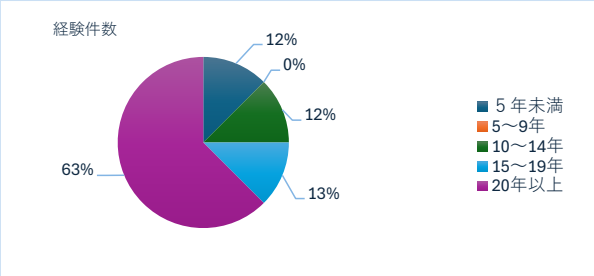
研修名	2)「恐れのない組織」チームの心理的安全を意識しよう	
開催日時	令和6年　7月　13日（土）	9:30～12:30
研修形態	集合研修	
受講者数	45名　（　会員40名　非会員5名　）	定員　　各40名
対象	医療・介護現場で働いている職員（医師・看護職・介護職・コメディカル・事務職等）	
ねらい	組織における心理的安全性について理解を深めることができる	
講師	高知医療センター　副院長　林　和俊	

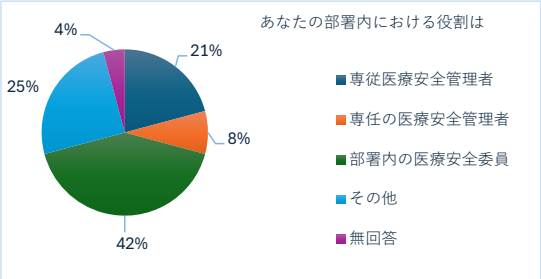
1. アンケート結果

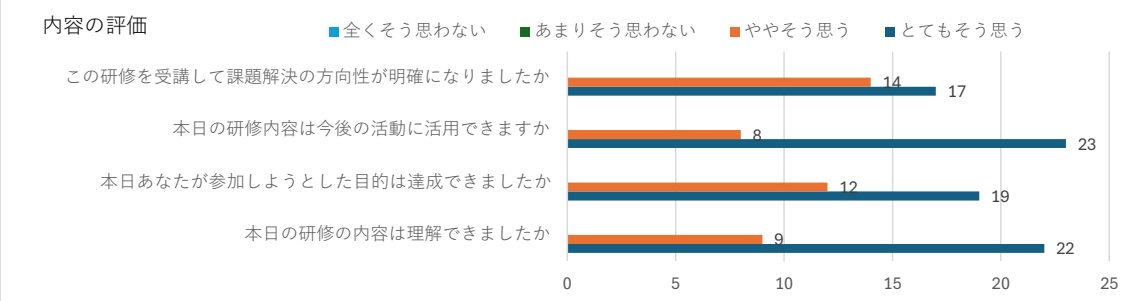
参加人数:45名　回答数:24名　回収率:53%　n:24

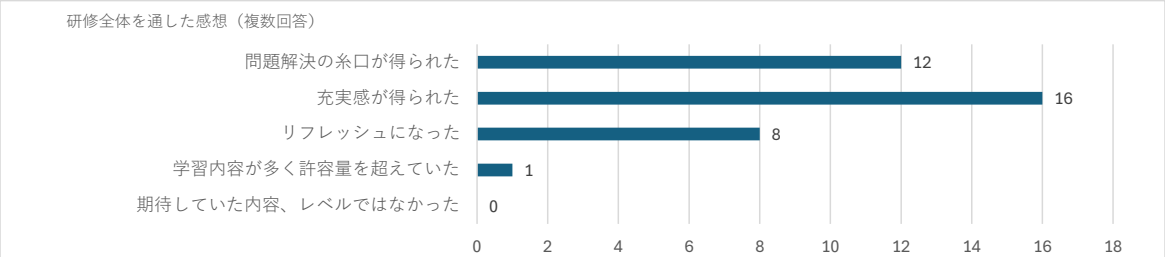












2.意見・感想（一部抜粋）

- 理想のリーダー像にはなれていないが、スタッフの意見は聞いていくように心がけている。まだまだ決断、行動が伴えるようになりたいと思った。
- セーフティ2の考え、できていることにも着目していき、グッジョブなことは広めていきたいと思う。
- ひとことで心理的安全性が大事と言うけれどその環境を整えることは難しいと思った。
- まだリーダー業務を出来ない為、全てリーダーに任せてしまっていた部分があった。
フォロワーとしてのリーダーシップを意識し、意見を出していって心理的安全性を高めていきたいと思う。
- 私は、教育委員会に所属していて伝達講習をする予定なので二回の医療安全研修で学んだことを活かし,病棟内の医療安全に対する意識を変えていきたいと思う。
- 心理的安全を高めるためのリーダーの行動を自分自身ができるようになり、レジリエンスのしなやかで折れない心、乗り越える力を高めていきたい。また、勇気づけになる10箇条も意識して、自らがやり続けて、賛同してくれる人を巻き込んでいきたいと思う。
- いい学びになった。職場でも伝達講習したいと思う。
- 内容が充実しており、パワーをいただいた。自施設で、心理的安全性を高めるリーダー的な役割ができるかどうか不安はあるが、歩き続けて行きたいと思う。
- 心理的安全な場所を作っていけたら、いろんな方向にかわっていける気がした。しなやかで、柔軟な思考が持てるということを考えでいきたい。
- 今年の7月から、師長となり、不安な想いを抱えて日々スタッフに接していた。今日の講義を聴き、少し前向きになれた。焦らず、私らしく、進んでいきたい。
- 心理的柔軟性を持ったリーダーとして対応できるよう、自身を見直し業務に臨みたい。
- TeamSTEPPSの映像も含め、資料や講義の内容や流れは分かりやすく引き込まれた。心理的安全性が保たれている中でも、何でも許容するというわけではなく、ルールは設けるということであったが、そのルールの指し示す言い方や方法も大事だと思った。
心理的安全性を保つには、コーチング、レジリエンスという概念、社会経済学などを学習して活用していきたい。
スタッフ皆が、心理的安全性について学習すれば、職場土壌の改善につながるのではないか、特に、心理的安全性に影響力を及ぼしやすい中堅以上のスタッフに必須ではないかと思った。年齢を重ねると学習意欲も落ちることも多く、働きかけ、モチベーションを上げる工夫も課題である。
- 知識の再習得ができた。

3.研修担当者コメント

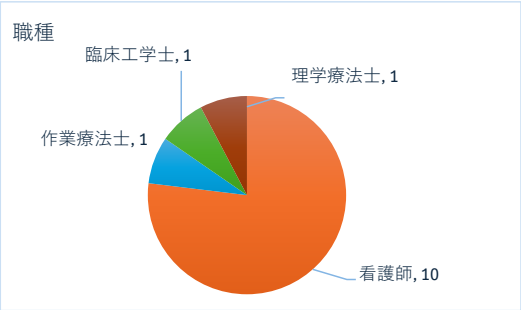
6月に続き2回目の研修であり、6月の研修にも参加した受講生が半数を占めていた。今回も、参加型研修で受講生の言葉を尊重した研修であり、心理的安全性について理解を深めることができる内容の研修であった。
今回は、動画視聴も問題なく実施できた。

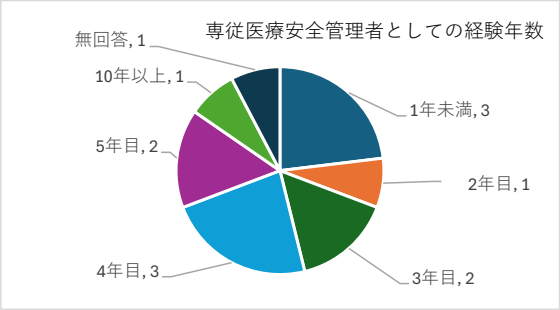
2. 医療安全委員会

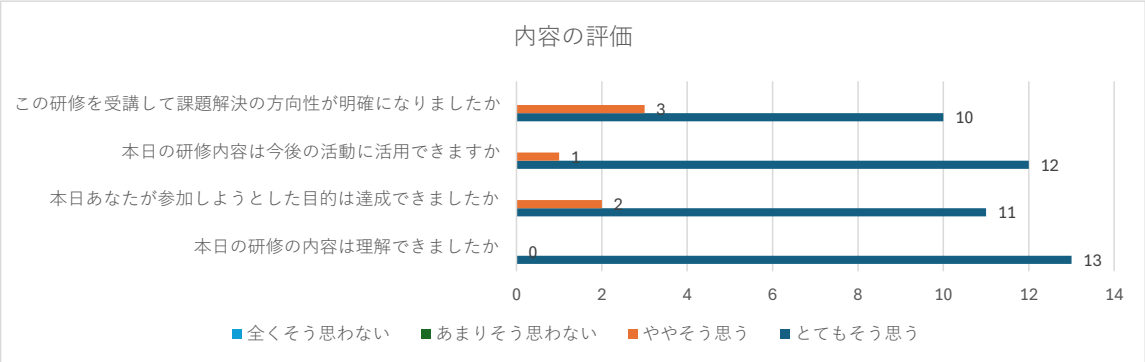
研修名	3）医療安全管理者交流会＜医療安全対策加算1施設対象＞ ～施設を超えたネットワークを作ろう！～	
開催日時	令和6年　9月　7日（土）	10:00～12:00
研修形態	集合研修	
受講者数	15名　（　会員11名　非会員4名　）	定員　　20名
対象	高知県内で医療安全対策加算1取得施設の専従医療安全管理者	
ねらい	医療安全管理者間の顔の見えるネットワークを作くる 交流会を通して情報共有し、各々の施設での医療安全に役立てる	
担当	高知県看護協会医療安全委員会	

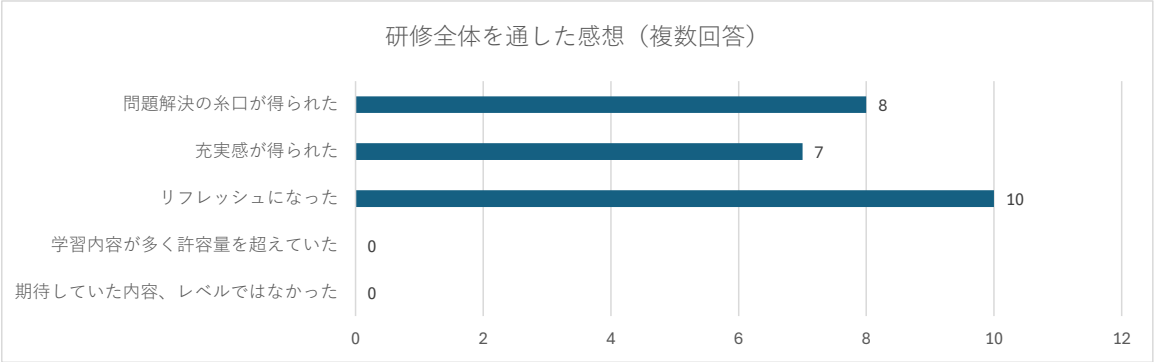
1.アンケート結果

参加人数:15名　回答数:13名　回収率:86%　n:13









2.意見・感想

- 悩みは似た様な事で少し安心した。施設や職種によって方法は違うと思うが情報共有して高めていきたいと改めて思った。
- 他施設の管理者の取り組みを知る事ができ、今後の活動に活かしていこうと思った。　悩みなど共有できる事は、励みになる。次回も同じような時間があればいいと思う。特に専任で活動してる管理者は、時間配分など思いがあるのではないだろうか。
- 皆と情報共有でき、同じ悩みを持ちながら、業務を行っていることが分かり、とても心強く感じ、充実した時間を過ごせた。
- 一人で医療安全をやっている立場として、色々な方と話をする機会となり、とても良かった。
- 各種ハラスメント事例が増加しているため、成功事例など共有してほしい。

3.研修担当者コメント

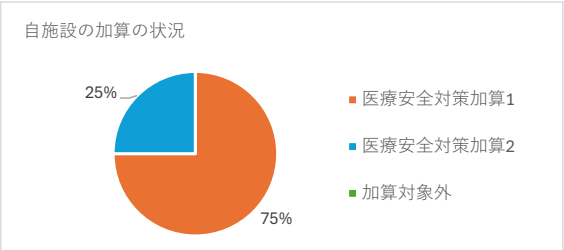
高知県下には医療安全対策加算1を取得している医療機関は17施設ある。今回も専従医療安全管理者対象に交流会を開催した。14施設の医療安全管理者が集まり、医療安全委員2施設より自施設の取り組みを発表し、その後参加者とディスカッションを行い、課題について情報共有・意見交換することができた。医療安全管理者がいきいきと活動できるよう医療安全管理者のネットワークを広げていきたい。

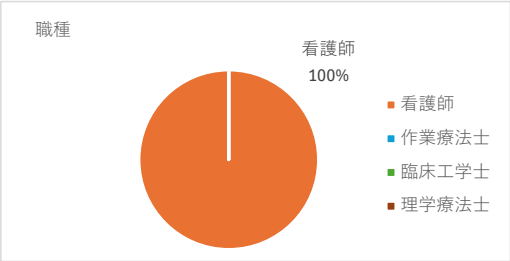
2. 医療安全委員会

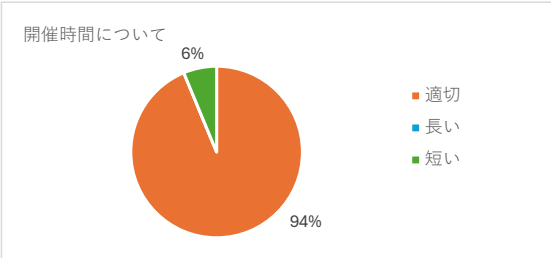
研修名	**4）医療安全管理者交流会～院内の医療安全について考えよう！～**	
開催日時	令和6年　12月　7日（土）	10:00～12:00
研修形態	集合研修	
受講者数	18名　（　会員17名　非会員1名　）	定員　40名
対象	院内で医療安全に関わっている職員（専従・専任を問わない）	
ねらい	医療安全管理者の交流を図る 交流会を通して情報共有し、各々の施設での医療安全に役立てる	
担当	高知県看護協会医療安全委員会	

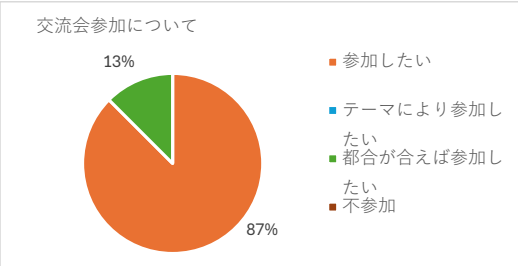
1.アンケート結果

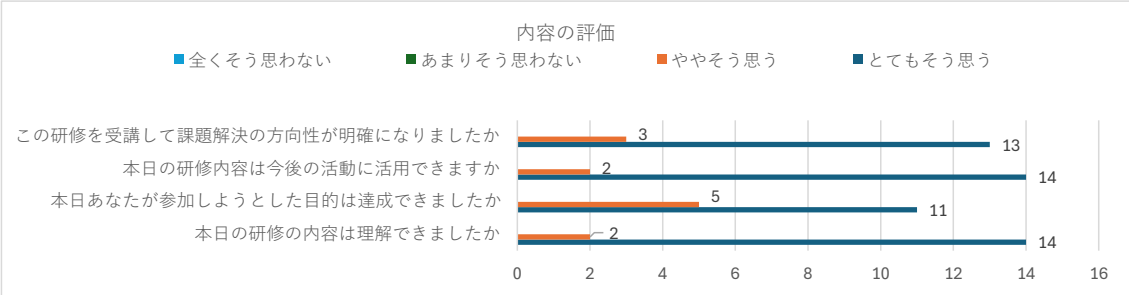
参加人数:18名　回答数:16名　回収率:89%　n:16

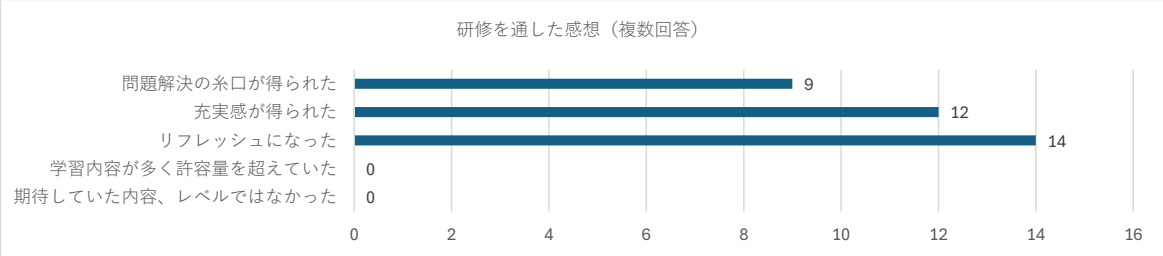












2.意見・感想

- 他施設での様々な対策を知ることで、当院での事故防止対策の参考にしたいと思った。こういった情報交換の場や、メールでのやり取り、相談などの機会がもっと増えれば、高知県全体の医療安全のレベルも上がっていくのではないかと感じた。

- 他施設の状況がわかり、色々な課題があることがわかった。

- 心に溜まっていたモヤモヤが吹き出して来た。一人ではないことを実感して安心した。これからのパワーを頂いた。

- このような会に参加させて頂くことで、自施設での活動に活かせることを知る機会になった。また、顔を合わせてコミュニケーションを図ることで、今後の連携も取りやすく大変ありがたい場となっている。今後もぜひ、続けて頂きたい。

- 各施設の取り組みや悩みが共有でき、とても有意義な研修となった。

- 他病院の対策や考え方などを知ることができ、とても勉強になった。

3.研修担当者コメント

医療安全委員会委員3施設より取り組み報告を行い、医療安全活動や課題について情報共有・意見交換することができた。昨年度、医療安全対策加算2施設の参加者が3名と少なかったため、今年度は、院内で医療安全に関わる職種を対象に交流会を開催したが、参加者数が予定よりも少なかった。次年度は、チラシ等を作成し看護職に関わらず、医療安全に関わる職種に幅広く参加が得られるよう広報を行い、高知県内の医療安全活動のネットワークを広げていきたい。